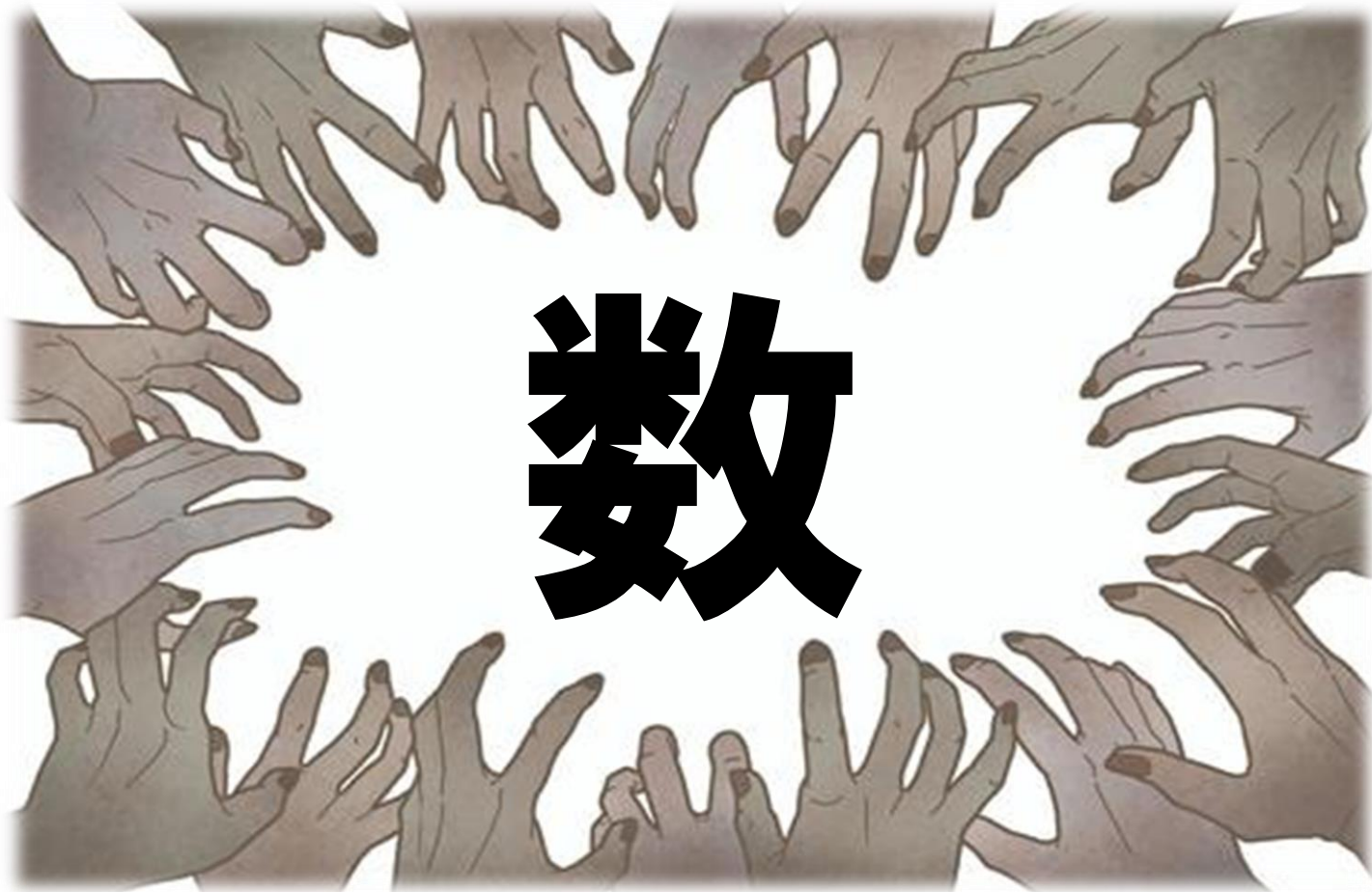


【✦ 方向ガイド編 ✦】 03

『大切な御縁を慈いつくしむ』

✦ 『運』の仕組みが分かる
基礎講座 ✦

現代は、「^{かず}数が多いと幸せ」
という価値観を
植え付けられることが多いです。



でも、それは
本当に幸せなのでしょうか？

「友達100人
できるかな」



「もっとフォロワーが欲しい。
『いいね』が欲しい」

「お金がたくさんあれば
幸せなはず」





これらは、「数が多いと幸せ」
という価値観から出てくるものです。

この「数が多いと幸せ」
という価値観を持っていると、
どうしても「比較」しがちになります。



「あの人の方が多い。悔しい…」
と、嫉妬心や渴望感も出てきます。

その反動なのかもしれませんが、

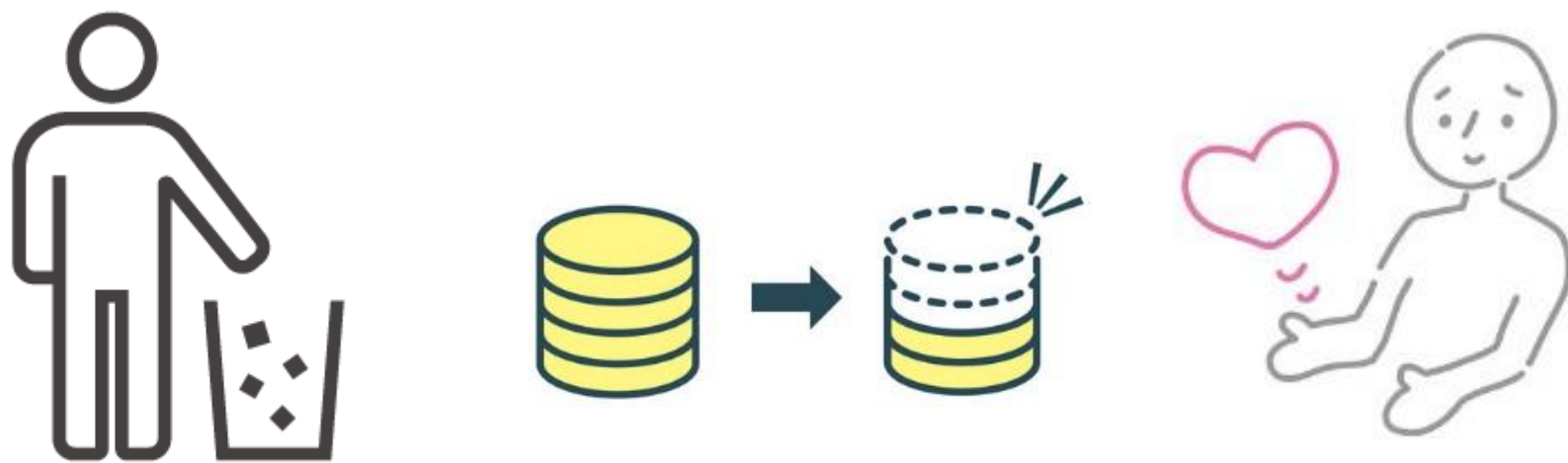
「数が少ないと幸せ」

という価値観も最近は増えてきました。



先ほどとは真逆に聞こえますよね。

「とにかくモノを捨てなさい」
「とにかく減らしましょう」
「あれもこれも手放しましょう」



これらは、「数が少ないと幸せ」という価値観から出てくるものです。

ですが、この「数が少ないと幸せ」
という価値観も、
意外と「比較」しがちになります。



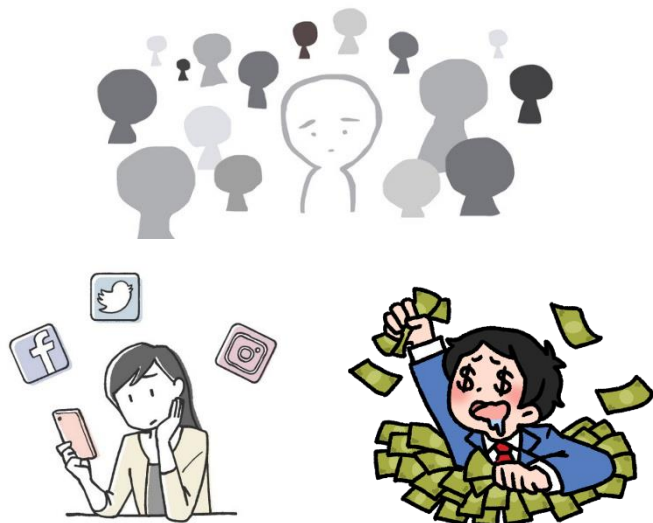
「あの人のほうが少ない・・・」と。
先ほどと同じなのです。

もしかすると、勘のいい方は
お気づきかもしれませんね。

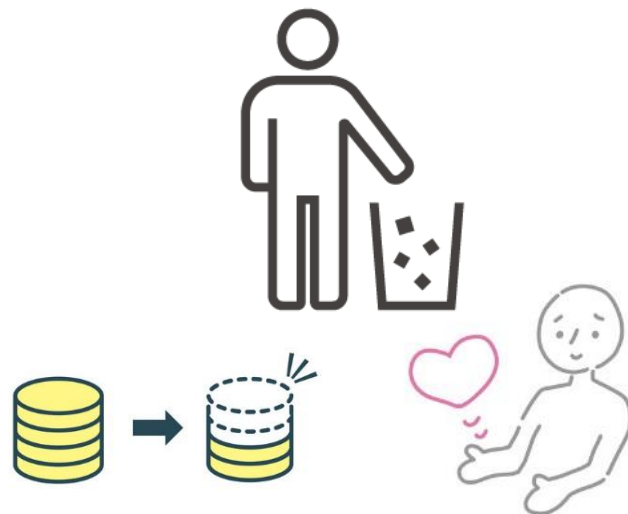
両方とも、

「数」に囚われている価値観
ということです。

多い



少ない



「数」が多くても、幸せとは限らない。

「数」が少なくても、幸せとは限らない。

「カラダの栄養」で考えると…

食べ過ぎもカラダに良くない。
食べなさ過ぎもカラダに良くない。



ということになりますね。

「数を増やせばいいの？」

「数を減らせばいいの？」



一体、どうすればいいのでしょうか。

では、古代日本人の『叡智』は、
どんな価値観なののでしょうか。

それが、
『大切な御縁を慈いつくしむ』です。

『大切な御縁』とは、
大切な、「縁」のあるもの全てです。
「数」が多い／少ないは関係ありません。

『^{いづく}慈しむ』とは、
愛を持って、大切にすることです。
人間、動物、植物、それ以外のモノ、
自然等に対しても使われます。

「大切な人を、大切にする」

「大切なものを、大切にする」

「大切な食べ物を、大切に頂く」



という、とてもシンプルな価値観です。

『大切な御縁』が何かを理解するには、

「本当に、自分に必要かな？」

と、今一度振り返って考えてみましょう。



前回と同じく、

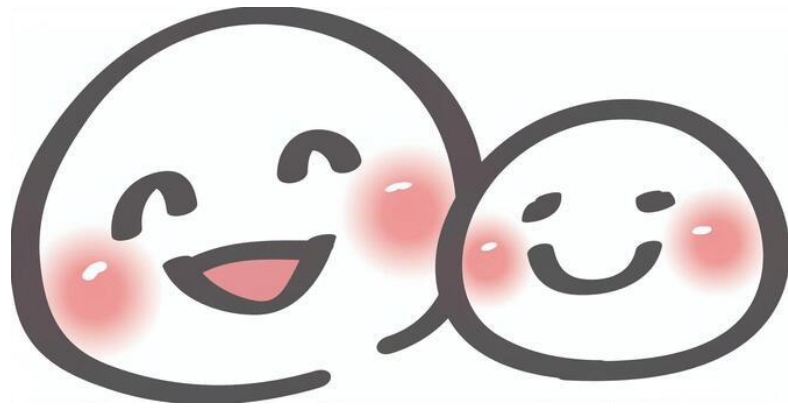
「比較」よりも『自覚』が大切になります。

『大切な御縁を^{いつく}慈しむ』。



その結果として、
「数」が多くなることもあれば、
「数」が少なくなることもあるだけです。

『大切な御縁を慈しむ』は、
充足感が得られやすいため、
心身共に健康になります。



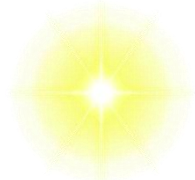
そこから、幸福感にもつながります。

幸福感だけではなく、

『大切な御縁を慈しむ』は、



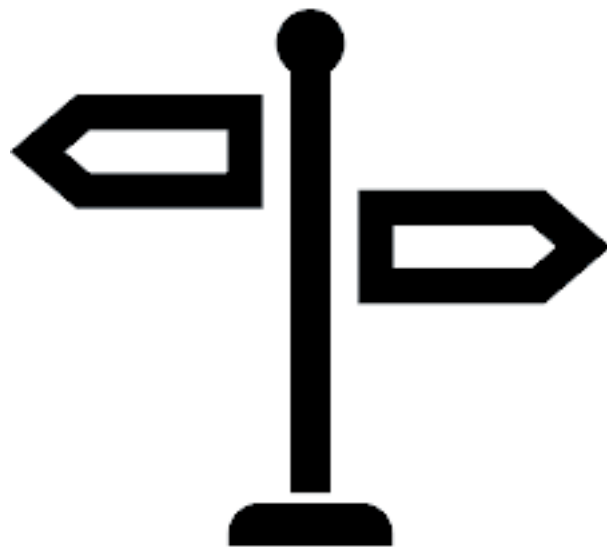
『天』に導かれる



『運』の流れに乗る

ことにも、つながります。

「楽しそう♪」と感じた方は、
是非、読み進めてみてください。



次の章へ、続く。

もう一度
最初から見る

